

KSKQ あかねニュース No.59

川西市障害者共働作業所あかね

Tel&Fax 072-755-4101

〒666-0017 川西市(打)1-5-19

ホームページ akanesan.net

E-mail: rassyal-akane@deluxe.ocn.ne.jp

『不心得な人』の

マイナーとメジャー

このところ少しだけ顔なじみになった宅急便の配達のおにいさんが、ぼやきます。

「最近、配達に行くと、スゴク警戒されるんですよ。家の中に居るのに出てきてくれない。窓を開けて覗いて、そこへ置いといてくれ、とか。領収印をいただかないと帰れません、というのとやっとなってきて、本物だろうな？」

「そうか、去年の暮れの、厚生事務次官が襲われた事件以来だな。」

「その前にも時々ありましたけど、あの事件が決定版でしたね。まあ、宅急便のことが報道に出てくるのは、そんなことでしか有りませんわ。宅急便が無事届けられ

ました、なんてのは、何のニュース性も無いし。」

「そうだなあ、何万人もの宅配便の配達員が真面目でも、その中のたった一人が配達員を装って殺人事件なんか起こしてくれれば、配達員全員が警戒の目で見られることになるね。」

ひと昔前には、奈良で新聞配達員が幼女を誘拐殺人した事件があり、その後しばらくの間、全国の新聞配達員は人々から、あの人の新聞配達してらんだって、と指さされ、肩身の狭い思いをしたと聞きます。

数年前には、八尾市の歩道橋の上から小さい子を投げ飛ばした大人がいて、その人が障害を持つ

人だったことから、障害者は野放し出来ない！などという理不尽な一般論が声高に叫ばれるようになってしまいました。

昨年の春、我々「あかね」自身が不祥事を起こして皆様にご迷惑をおかけした時、お叱りの声中に「障害者の支援施設は、皆、あのようなことをしていると理解されてしまうではないか！」という意味のメールがあり、われわれ一同、深い反省の念を禁じられませんでした。

多数の人は誠実な営みをしていても、ごく一握りの「不心得な人」が社会規律に反したことを行なうと、あたかも全員がそうであるかのように取られてしまう、という風潮は、マスコミの一方的な報道によって醸成されていった、という一面はあります。

たしかに、何事もうまく運んでいる時は、これといってニュース

毎日発行

一九九一年九月三日

第三種郵便物認可

頒価

定価

一〇〇円

にはなりません。

何か事件、それも被害者が出たり、衝撃的な手法で行なわれたりして、初めて出来事が、突如『ニュース性』を帯びてくるのです。そのようなニュースの間断ない報道を通じて、人は皆『一事が万事』と認識することになります。

平時はニュースにならない、有事はニュースになる、とされる所以です。

一方『不心得な人』の割合が、一握りやそこらでなく、マイナーからメジャーになつてしまった結果、本来は真つ当な内容のものまで、いかがわしく見えてきて、誤解され色眼鏡で見られ、良心的にやっている少数の『ほんもの』が迷惑を蒙る、という例も出てきます。

例えば、産地表示を偽るところが次々と出てくると、真面目にちゃんと正しく表示しているところまで、『本当に国産なの？』などと怪しまれ、『本当にほんと』であることの証明に四苦八苦する、と言う話はよく聞きますし、『街角募金』などでも、集まった金を持ってドロンしたり、国際災害

の救援物資や金が国の上層部に取り上げ

られて一般大衆に届かなかつたり、集めた金が目的どおりに使われたかどうかの確認方法が無かつたりすると、おしなべて、『あのテの寄付は信用できない！』となり志を持って、難民救済や障害者支援のために頑張っているグループが白い目で見られる、などの事例も珍しくありません。

「振り込め詐欺」然りです。ほんとうに金に困つた息子が、せっぱ詰まつて「俺だけど！」と電話してきても、テレビから撃退法なる知恵付けをされた母親が毅然とはねつけ、どうしても工面してもらえなかつたとか、場合によっては、本当の悲劇に繋がりがありません。

「いかがわしい商法」がまかり通ると、一見似た方法でやっている商法のすべてが、いかがわしく見えてきて、多くの、いかがわしいものの中に混じつた数少ない「まともなもの」を見分ける(見抜く)ことが難しくなつてきて、「疑わしきものには近寄らんとこう」との判断に傾きます。

巨額の資金を有利な条件で提供斡旋す

る、などという話も同様です。

このような世間一般のものの見方も、マスコミの偏つた報道(被害のみを過大に報道する)の影響が少なくない、と見るのは私一人の「偏つたものの見方」によるものでしょうか? 『ほんものと、そうでないものを見分ける』透視力、判断力を持ちたいものだと思います。

あたらしい年もすでに二ヶ月が経過しようとしています。皆様は、今年をどのようにして迎えられましたか?

そして、この一年をどのような年にしたいという抱負をお持ちでしょうか?

「あかね」も、昨年経験した本当にたくさんの出来事から得た教訓を胸に、前向き的一步を踏み出しはじめました。十年選手のスタッフ安倍日出夫が一身上の都合で昨年末辞職し、新たに岡田小月を加えた四人の専従と準スタッフはメンバーともども危機感とともに禍を福に変えるべく決意を新たにしています。今年もあかねグループに変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。 芳川雅美

ようつくお願
いいたします。

昨年の十月より「あかね」で働かせていただくことになりました岡田小月(おかだ さつき)と申します。

初めて作業所に来てから、あたらしい事の連続で、あっという間に三ヶ月が過ぎてしまいました。

お弁当やお菓子作り、配達や行商、バザーや一庫マラソンへの出店など、ここでは作業所のメンバーと職員・ボランティアさん・お母さん方、みんなで文字どおり、共に働いています。

穏やかに過ぎる日ばかりではありませんせんが、毎日、「何か面白い」「なんだか分からないけど楽しい」他にないものが、ここにはあると感じます。

初めてあかねはうすで、職員でメンバーのお母さんでもある、富田さんとお会いし

た時、何よりも驚いたのは(叱られてしま
いそうですが) 顔のシワでした。

今までの人生を物語っているような、悲しみや痛みや怒り、そういった全ての上から喜びが覆いかぶさっているような「シワ」全てを隠すことなく、さらけ出して生きてこられたのだろうか、その顔に思わず見とれてしまいました。

その日から、作業所のメンバーたちのお母さん方、立ち上げからずっと手伝ってこられた方々、行事のたびごとに来てくださるボランティアの方々、会う人会うひとと笑った時のシワが素敵な方ばかり。本当に驚きです。ここに来て、「シワ」って美しいと思うようになりました。

そして毎日「あかね」のメンバーと共に過ごすうちに、そのシワの秘密が分かってきました。大変なこともあるけど、一日何度でも大笑いしてしまう日々です。

これから泣いたり笑ったり、いいことも悪いこともさらけ出しながら、共にシワくちやになるまで生きていきたいです。どうぞよろしくお願ひします。岡田小月

天気の良い昼下がり、たまには気分転換にと昼休みを一庫公園でとった。

メンバーたちとお弁当を地べたに広げ暖かな日差しの中、公園で遊ぶ子どもたちを眺めながら、お弁当を頬張った。

次の行商先まで少し時間があつたので、散策もし穏やかな時間が流れた。「あっ、

この感覚ひさしぶりやなあ」秋日からバタバタと過ぎ、出来るだけ個々の気持ちや、

ひさしぶりやなあ!?

様子を把握しようとしてるけど、やはり抜け落ちているのではないか? 気がつけばお互いにケンカし、しかめっ面。

決められた仕事・やらなければならぬ事は大事。でも、やはり楽しくてホッとする場として幸せを感じられる職場でありたい。

毎日、ニュースでは不景風に飲み込まれがちだけど、あかねは笑顔だけでも景気よくありたいものだ。たまには、お日様にあたってスカッとリフレッシュしてはいかが?
渡邊 誠

一人の人間として

当たり前前にいきる・・・

毎日のように報道される人の死・・・自殺他殺・事故死・病死・戦争による死・・・そこへ更に不景気風が吹き荒れて、今年もまた多くの人々の死が報じられるであろう。

人の人生を想う時、どんな死に方をしたのではなく、どんな生き方をしたのか・・・であろう。

障害があるがなかるうが、若い人であろうが、老人であろうが、金持ちであろうが、貧乏であろうが「人間らしくまた人として当たり前前に生きる」ことを真剣に考える時、「人と人とのつながり」「人の優しさ」の大切さに気づかされる。

人生五十年といわれた時代、つい三十年ほど前。今は平均寿命女性八十五歳、男性七十九歳、人生九十～百年の時代になってきた。高度医療が進んだお陰でしょう。

しかし、人生が長くなってきたことを、ただ単純に喜べるのでしょうか？

誰もが人生の半分以上を弱者として生きなければならぬ。足・腰が弱る。目が見えにくい、耳が聞こえにくい。まさに障害者として生きる時代が、人生の半分だとするならば、半分の健常者の時代をどう生きるのか・・・を問えば、おのずと人としてどう生きるのかの答えは生れてくるはず。

しかし、残念ながら人間は貪欲な心を半分持ち合わせている。自分の利益・欲望を満たすことに奔走し、他者への想いを忘れがちである。「弱者から学べ」である。

いずれ自分も弱者の側に立つ。人の世話を受け、人に迷惑をかけて、生きなければならぬ時期は必ずある。

「私は人のために働くなんて出来ないわ、自分のことで精一杯よ。」

「私なんか何の力もないし、何もしてあげることなんか無いわ・・・」

そうなんだろうか？どんな小さなことでも、人の気持ちを元気づけ、人に笑顔をもたらす、共に笑い合う時間を共有するこ

とは出来るはず。

一人では出来ないけれど、何人か集まれば結果として大きな事も生れてくる。

あかねでは、今、中谷さんの自立生活を支える為に、いろんな方々が集まってくださっています。

いずれ自分も介護者から介護される側になる。そのときの有様を中谷さんは今、介護者たちに多くを伝えてくれているように思います。障害者が地域で一人の人間として当たり前前に生きることを実践は、全ての人へのメッセージとして発信されています。あなたもこの輪の中に参加してみませんか？「ちよつと覗いてみようかな」「私に出来ることあるのかなあ」「なんかたのしそうやなあ」「ちよつとだけ参加してみようかなあ」どなたでも結構です。歓迎です。ご自分の老後とどう向き合えば良いのか不安に思っている方、方、など・・・一度来てみてください。

うつつうしい時代だからこそ、つながりあう時間を積極的に持ちましょう！そして笑いあいましょう。

富田 啓子

お出合い情報

あかね行事へのお誘い

あかねで行なっている五月までの主な行事をご案内させていただきます。

作業所のメンバーたちを核として、いろんな人たちと出合い、理屈抜きで楽しく、共に過ごす(生きる)場となるよう企画しています。どうぞお気軽に、お問合わせ・ご参加ください。

「ガイドヘルパーになってもらえませんか?」「泊まりのヘルパーしてくれませんか?」「作業所活動にボランティアに来てくれませんか?」・今、厳しい状況です。こちらの努力不足もあるのですが、いきなりの呼びかけには逡巡・ためらい・当惑があつて当然でしょう。やはり、メンバーたちとまずは出合い、お互いに知っていただき、そこから始まれば自然な関係で輪が広がっていくものと思います。

ちよつと押し付けがましく、暑苦しい話になりましたが、原点は始めに述べましたように、共に楽しく過ごしましょう!

あかね妙見山ハイキング

三月二十二日(日曜)

十時、能勢電・妙見口駅集合

参加費二千円(復路ケーブル代・昼食バーベキュー含む)

登りのコースは未定、昼はバーベキューと遊び・語らい。下山は歩き・ケーブル選択可。少雨決行。

あかね旬・山菜とリツアー

五月十日(日曜)

八時半、JR川西池田ロータリー集合

参加費三千五百円(貸切バス代・昼食バーベキュー・旬・山菜含む)

奈良県の天理市郊外の山里へ行きます。いつもお世話になっておるおばあちゃんの手作り餅も食べさせてもらえます。

第二回 あかね元氣寄席

五月十七日(日曜)

昨年、あかねまつりの一環として、林家染二さんをお招きし開催したところ、盛大に好評を博しました。その折、この企画を川西に根付かせようという話になり、春と秋の二回行なうこととなりました。

今回の出演者については、染二さんの紹介を受けて決めます。(現在未定)

場所は、川西市商工会館です。詳しくは決まり次第お知らせします。乞うご期待。

あかね バス旅行

六月二十七・二十八(土日)

毎年、一泊二日で、いい温泉に入り、おいしい料理を食べ、カラオケなどで楽しむあかね独自の手作り旅行です。昨年は淡路島・沼島、一昨年は白川郷周辺。今年は未定ですが、東か西方面になります。詳しくは決まり次第お知らせします。 内海

中ちゃんの地域生活 報告

昨年十一月末から自立生活を始めた中谷さん。二ヶ月が過ぎました。昼間は作業所に通い夜はあかねほうす(緑台六丁目)へ帰りヘルパーさんの生活。

初めは緊張していましたが、それを見せまいとニコニコ笑顔で振る舞い、何事もハイハイと素直に応えていた。

土日は顔見知りのヘルパーさんと外出。「私ねえ今の方が楽しいねん。みんな親切にしてくれるしなあ」と自分の意見を話すことが多くなってきた。

それから次第に、「おぼちゃんどうしてるかなあ」「お兄ちゃんなにしてるのやろう」「おぼちゃんに会いに行きたいねん」と自分の身内の人への心配をしている。「おぼちゃんに会いにいこなあ」「そやなあ連れて行ってなあ」自立生活を始めるまでは、殆ど自ら発言することもなく、はい、ううん、ぐらいい言葉しか聞けなかった彼女。

そして、行動にも・身体をフラフラ

させて、転ぶことが多かったが、積極的に仕事にも参加してくる。とても素直で健気な姿に、ヘルパーさんたちもやさしく見守るまなざしの中で、元気に楽しんでいようと思う。

そろそろ、疲れや、わがままが出てくるのでは・・・心配もあるが、とにかく元気に楽しく暮らしている彼女です。ヘルパーさんたちに言うことには、「おぼちゃん、おっちゃんも連れてきてええでえ、みんななあ、私の家に来てもええねんでえ。たくさんなあ、いたほうがおもしろいからなあ」・・・
富田 啓子

編集後記

二〇〇九年ももう二月。皆さんには新年のあいさつも出来ていません。あらためて、本年もどうぞよろしくお願いいいたします。年末のカレンダー販売では、皆さんにたくさん買っていただき、カンパまでたくさん寄せていただきました。が、数百本売り残しました。すみません。報告まで。

寄付金・カンパ・助成金のご報告とお礼

(2009年1月～2月15日)ほとんどがカレンダー購入に添えて寄せて頂いたカンパです。ありがとうございました。

中村様・竹内昭夫様・武川應仁様・川村実様・土井まさ子さま・
安藤周子様・小暮芳子様・太田麻子様・小島裕子さま・山本美妃様・
和泉富美子様・高塚伴子様・アイリオ生命様・内山晶子様・
横藪明美様・大南和枝様・お～まきちまき様